

～ひびきあい集会振り返り～

葉っぱにみんなのうれしかったことが書いてあったので、私もうれしくなりました。最後の歌でみんなが笑っているように歌っていたからわたしもうれしくなりました。

木を見てぼく向けのものはあったけど、少ししかなかったのもっとありがたいと言ってもらえる行動を増やし、他の学年にも書いてもらえるような行動をしたいです。

みんながいてあまり葉っぱの内容を見ることができなかったけど、1，2年の子どもたちが、みんなにこにこしながら葉っぱを見ていたから、見られなくてもいいか、と思いました。

みんなの気持ちがこもった木になったのでうれしい気持ちになりました。学年の発表では、5，6年生が友だちのよさをいっていると聞いて私もいろいろな人を思いやった行動やよかったことを言いたいです。



あったか★せんげん

心があたたかくなる、
ことば や こうどうで
いっぱいにしてよう！

佐見小ひびきあい週間

～あったかい言葉かけ運動～

資源回収では、地域の方にご協力いただいている立場のわたしたち PTA や保護者に対して「ご苦労様、いつもありがとうございます。」と必ず声をかけてくださる方がいらっしゃいます。地域の皆様の善意と協力に感謝しなければいけないのは私たちの方なのに、いつもその言葉にほっこりします。人と人とのつながりを強く感じられるこの地域で子育てできることにより感謝し、私自身も周りの人を温かくできる言葉をかけていけるように地域・子どもとともに成長していきたいです。

佐見小保護者

5～6年前の話ですが、「子どもは小さいうちおなかの中にいた記憶がある。」や「子どもが親を選んで生まれてくる。」などの話を聞いて、子どもたちに「なんで、お母さんのおなかの中に来たの？」ときくと、

長男「気づいたらいた。」

娘「わかんない」

次男「お父さん、お母さんが楽しそうだったから！」

びっくり半分・・・うれしく、ほっこりした瞬間でした。

佐見小保護者

1年生の女の子が3日間休んで久しぶりに登校した朝のできごとです。バスから降りてくる女の子のところに、先に来て外で遊んでいたたくさんの子が駆け寄り、口々に「久しぶりだね」「元気だった？」「会いたかったよ。」と声をかけていました。その女の子もにこにこしていました。子どもたちの行動や言葉に温かい気持ちになりました。

佐見小教員

毎日家に帰るとお母さんはいつもやっている仕事をやめて「お帰り今日の学校楽しかった？」と聞いてくれます。恥ずかしくて言えないけどいつかは「お母さん、仕事がんばってね。いつもありがとうございます。」と伝えたいです。

佐見小児童